

俯瞰経営学第二回課題

技術経営戦略学専攻 M1 田村浩一郎

[JERA ゲストスピーカー 3 名の講演を聞いての感想や意見]

3 人のご講演を聞いた上で、それぞれのお話の核は

1. Vision の共有
 2. チームワークの重要性
- であったと捉えている。

1. Vision の共有

JERA の HP には、以下の Vision が掲げられている。

- 世界で戦えるグローバル・エネルギー企業を創りあげます
- 燃料サプライチェーンの Origination（オリジネーション）と Optimization（オプティマイゼーション）を両輪とする、新しいビジネスモデルを実現します
- 俊敏で創造的、挑戦心に満ちたコーポレートカルチャーを創りあげます

この中でも、お話の中でもっとも強調されていた世界で戦えるグローバルエネルギー企業を創り上げるという Vision（Mission）は、人口減少を続けマーケットが縮小していく日本の現状を踏まえると、初めから世界を視野に入れた Vision を掲げることは非常に重要であるだろう。近年スタートアップ界限で話題のメルカリの Mission も、「新たな価値を生み出す世界的なマーケットプレイスを創る」というもので、山田進太郎さんは初めから世界を前提に起業したという。

また、そういった Vision を社内で共有することで、社員が同じ目標に向かって、チームとして行動でき、そして同じ志を持った優秀な人間が集まってくることは非常に重要だ。実際、日本では年功序列、縦割りの企業構造が多く見られ、Vision を共有しきちんと目標に向かって最適にアクションできている会社は少ない。

2. チームワークの重要性

JERA ができた経緯として、東京電力と中部電力が同数の株を保有したというお話があったが、通常では意思決定のスピードや利権争いなどで同数を保有することは珍しい。しかし、Vision を共有し、その目的の達成のためにはチームを優先するという価値観を持つことで、JERA は成功を収めてきたという。たとえ優秀な人間が集まっていたとしても、チームワークを機能させることは不可欠であるということを改めて考えさせられた。